

子育て環境日本一丹後推進会議 あったか子育てニュースレター

第14号

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。第14号は、子育て世帯向けの割引や、授乳やおむつ替えスペースの提供など、子育てにやさしい取組を実施している店舗施設「キッズフレンドリー施設」に関わる情報をお届けします。

発行：令和6年3月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：京都府丹後広域振興局)



丹後管内のキッズフレンドリー施設紹介！

京都府では、子育てにやさしい取組を進める施設を「キッズフレンドリー施設」として登録し、子育て応援パスポートアプリ「まもっぶ」で情報発信しています。丹後では現在、203施設が登録。その一つである協同組合加悦谷ショッピングセンター「ウィル」の、嶋崎信次事務局長にお話を伺いました。



住所：与謝野町字温江5番地
出店店舗数：15店舗
設立・昭和62年
電話番号：0772-42-7891



一 子育て世帯に向けて、どんなことに取り組んでおられますか？

「キッズスペース」を設置したり、京都府の「おむつ回収機」設置試行の取組に手をあげたりしています。全ての人にやさしいショッピングセンターを目標に、これまでも、思いやり駐車場の設置などしてきましたが、利用者のためになることは、積極的に取り入れていきたいと思っています。

一 実際におむつ回収機の設置などをされてみて、いかがですか？

実は、設置前は、おむつゴミが店内のあちこちのゴミ箱に捨てられていて、分別に苦労したこともあったんです。でも「ここに捨てていい」という回収機を置いたことで、分別の問題も解消されましたし、赤ちゃん連れの利用者にも安心してお買い物をしていただけるようになりました。最近は子育て世帯の方のご来店も多いので、やってみて良かったなと感じています。

一 組合としてだけでなく、各店舗でも様々な取組をされておられますよね。

そうですね。去年、おむつ回収機を設置する話になったとき、店舗の皆さんと「私たちができる子育てにやさしい取組って何があるだろう」と、話し合う場を設けたんです。そうしたら、女性部から「ミルク用のお湯を無料で提供できる」「大きい買い物をされた際、駐車場まで荷物を運べる」「買い物中、お子さんをあやしてあげられる」など、いろんな意見がでました。

店舗のオーナーも子育てを経験された方が多いので、自身の経験をもとに、気の利いたサービスを提供できることは、ウィルの強みだと思います。そうした声を活かしながら、これからも、誰にとってもやさしいウィルを目指していきたいです。

取材メモ

ウィルが進められている子育てにやさしい取組が、各店舗の皆さんにも浸透しており、とても良い相乗効果が生まれているのだなと感じました。

また、子育て世代へのアンケート※によると、外出先で「授乳室・おむつ替え・親子トイレなどの場所を増やしてほしい」と答えたお母さんは約40%！子育て世代が安心してお出かけが出来るように、今後もこうした各事業者の子育てにやさしい取組を発信していきたいと思っています。

※(出典)公益財団法人児童育成協会「子育て中の親の外出等に関するアンケート調査」

